



春の農作業に伴う交通事故防止

田起こしや田植え等、これから春の農繁期を迎えるにあたり、農耕作業用自動車の交通事故が懸念されます。農耕作業用自動車での交通事故の特徴を理解し、今一度運転時の安全確認と事故防止対策を見直してみましょう。

農耕作業用自動車の交通事故の特徴

1 単独事故

- ◇ 運転操作ミス等による田畑や用水路等への転落
- ◇ 傾斜地等でバランスを崩して横転したり、自然に動き始めた農耕作業用自動車の下敷きになる 等

2 後続車両からの追突事故

- ◇ 夜間における追突や昼間トンネル内での追突等



事故防止対策ポイント

農耕作業用自動車を運転するときは…



① 確実な運転操作とブレーキ連結の確認をしましょう。

ハンドルやブレーキ操作の誤りによって転落、横転する単独事故が多いため、確実な運転操作を行い、道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。

② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットを着用しましょう。

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用し、運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。また、頭部保護のためにヘルメットを着用しましょう。

③ 車体後部に低速車マークの取り付けや反射材を貼付しましょう。

一般車両との接触や追突を防ぐためには、周囲に気づいてもらうことが大切です。後続車から見えやすい位置に「低速車マーク」や「反射板」を設置しましょう。



◇周囲のドライバーの皆さんへ◇

早朝・夜間や日没前後の時間帯に交通量の少ない田園地帯やトンネル等を走行するときは、ハイビームを上手に活用し、農耕作業用自動車や農作業中の歩行者等の早期発見に努めましょう。

～いぬわし君のひとこと～

農機を積み降ろしする際は、できるだけ複数人で行うようにしましょう！



ツイッターを運用しています。フォローお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】



◇ 毎月1日、15日（土・日・祝の場合、翌平日）に新情報を配信します。

◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。（アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/）

（交通法令・制度等についてはこちら

アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/trafficsafety/trafficsafety05/）

